

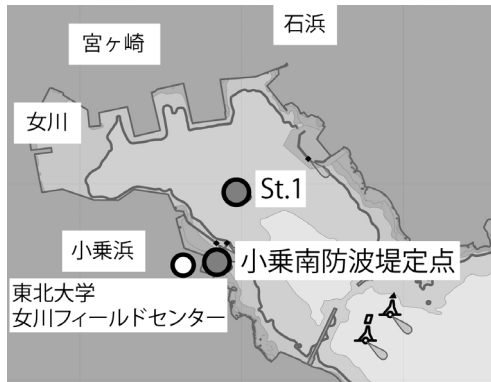
## 週刊 女川湾海況速報 (No.21)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

12月3日から7日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

## 観測点



## 小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して、水温は上昇傾向。経時的には下降。港外水及び海面冷却の影響と推定。塩分は先週と同程度の値。経時的には4日に全層で下降。降雨の影響と推定。

水深 [m]	12月3日 (月)	12月4日 (火)	12月5日 (水)	12月6日 (木)	12月7日 (金)
0	14.3 (33.3)	14.2 (33.0)	14.0 (33.3)	14.0 (33.4)	13.6 (33.4)
6	14.4 (33.4)	14.3 (33.0)	14.2 (33.4)	14.0 (33.4)	13.7 (33.4)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル（千分率）。1パーミル = 1PSU（実用塩分単位）。  
\*3日は水深5mのデータを使用。

②濁度：先週と比較して、特に底層（6m）近くで上昇。経時的には5日に表層（0m）で上昇。4-5日には底層で特に高い値。

水深 [m]	12月3日 (月)	12月4日 (火)	12月5日 (水)	12月6日 (木)	12月7日 (金)
0	0.4	0.4	2.0	1.3	1.1
6	0.3	3.6	5.7	1.6	1.4

(単位は FTU)

③溶存酸素：先週と比較して、上昇傾向。7~8mg/l 台を維持。経時的には6日に全層でわずかに下降。鉛直的にはほぼ一定。

水深 [m]	12月3日 (月)	12月4日 (火)	12月5日 (水)	12月6日 (木)	12月7日 (金)
0	8.2	8.2	8.1	7.9	8.0
6	8.1	8.2	7.9	7.8	7.9

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

## St.1 の結果

水温、塩分はともに水深とともに上昇。濁度は0.8~1.7FTU。鉛直的には5m以浅と底層（20m）近くで高い値、底層で最大。溶存酸素は7.7~7.8mg/l。鉛直的にはほぼ一定。

12月5日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	14.0	33.4	1.1	7.8
5	14.2	33.4	1.1	7.7
10	14.3	33.5	0.9	7.7
15	14.5	33.6	0.8	7.7
20	14.4	33.6	1.7	7.7

本データの利用については、  
東北大学マリンサイエンス復興支援室  
Tel.: 022-717-8827  
Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。